



寸 2
4302

卷之三

かを
わむ
さく
うふ
いぬ

京極家納喜 家郷
家集於恩まの法事大組
文河内西司 于時
大物 紙行小地
をかえゑへいわひあひ
よりえを多字のアラシ
えますめに定めとてきゆ青門
東より思ふよ車安
あでをゆ作らりけん方大概め

卷二
4302

悉く理相合つてかく全徳を平生仕事とす
はるゝ事、轉ひ承出先も鷺鷺也かくの事無し
ア格者ノ聲作として高名の極手を字は後呂
波縞以て書き入れ候ふかといいぬひとおひ
ゑへ向徳のきまつてちりの筆引く要用はば
謂と詔勅之類の行書風をこなすものある
是れの筆はひくためて追々跡のものも
わづか更よきやわいひうぬ乃字おとぢ

らうとあくまでも軍を取いやがれをよし
よそへかまじらふまほめぬまうと同
えぐきはあくまも見て修どもあ強氣乃
何をもととむる可難扱れのよきよは勤
勤と穿てア神妙云く

缺

キソイシウ

カキツケユ タキツテト マミムメモ
サシスセソ アイウエヲ ハヒフヘホ
ナニヌ子ノ ラリルシロ ヤイウエヲ

假名文字遣

一を。故とを然小
二於。お於尾焉雄呼
三レ。元夜要校孫江
四ゑ。湯出例會戻惠
五へ。邊柄遍経那
六い。伊豆日漸燃
七い。伊豆日漸燃
八ゐ。井居遠高妻咸
九ほ。いほ保恵浦浦雨
十は。ひは。いは。いは。
十一。半木故
十二。字卯得有根胡
十三。字卯得有根胡
十四。布被婦舟舟

書金龜圖
故先光清原氏
大正十三年十月三十日
先光華氏
寄贈

一
端
亦

中
左

輿
志

一端堵

中津川

奥 奥
忍 忍

宋家彌口傳二人九秘抄

一

芝袁結社

卷之六

よしの志

竹草
白木
茶木

七
懷喬

卷之三

加文子棘 棘 同 藤

わざと
麻薺

卷之三

卷之三

方甚
を

わざく

防己

わざわら
玉の葉も

三

柳玉小猿柳柳

思玉本
右今集三

本のね

九
九
九

卷之三

たまご

嫁娘扇扇

志士すな

湯わせり
志士と

うらさき

九ね盤わ

みそしし檜標

万紫

まの風

御風追風

まくあ

志病夜

とよかひぬを小山

をく

志精鷹手

まく

苗丘園陵車

まやま

小山田

まく

苗羽山

まやま

小倉山

まく

涼峰勝

まく

小峰山

まく

小野山

まく

小野山

まく

小野山

まく

小長尾

まく

岩倉小壁

まく

岩倉小壁

まく

小栗柄

まく

小栗柄

まく

毛岩毛岩基

まく

毛岩毛岩基

まく

奥中町興兵

まく

奥中町興兵

まく

奥中町興兵

まく

奥中町興兵

まく

法縫橋

まく

法縫橋

まく

法琴緒

まく

法琴緒

まく

押照卦羅波

まく

押照卦羅波

まく

法縫緒

まく

法縫緒

まく

名名

まく

名名

五

五のと

旅男婢男
男子万本

いをあわま

伊勢男市を支
古今名店を

益雄達男

うけとを綾小平を

そら

伯父内戚町伯
叔父外戚

か

かの内ハシキ半
かの内ハシキ半

か

久

久

と

甥男
肉威

おもとく

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

姉母肉威
姉母肉威

たとめ

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

と

伯父肉威
肉威

とんか

女
年弱女人弓傳
婦傳主姑婦人

か

か

か

送幡達

久子

病面頬

珍萬怖惶思

我般

阿多

作麻

頭躍

猪苏

阿多

奢施修

頭毛

阿多

船摩

効排

阿多

喝

廢跋

阿多

催追催重

補

阿多

元

費酒

阿多

俄典

及暨須

阿多

覃退迄

鞍鞚

阿多

鞍

坐舌

阿多

坐

押並

阿多

坐

推量

阿多

坐

百千函

阿多

坐

百千函

阿多

坐

をすかゆ衣日和

紙

彼方ヨリカタ

紙

多

紙

雄

紙

雌

紙

山毛ヤマモミ

紙

雄

紙

雌

紙

牡

紙

牝ヒメ

紙

牛樊ウシハシ

紙

牡鹿オツク

紙

草草スス

紙

奥オト

紙

臘奥オト

紙

飼ヒム

紙

飼魚ヒムニ

紙

縞ヒダ

紙

李衣ヒナギ

紙

葛柳巾カキツバタ

紙

葛巾カキツバタ

紙

衣ヒナギ

紙

家ヒナギ

紙

ものとヒナギ

紙

物生死ヒヨウシ

紙

物生ヒヨウ

紙

死ヒヨウ

紙

衣ヒナギ

紙

家ヒナギ

紙

見ヒナギ

紙

車具ヒナギ

紙

車具ヒナギ

紙

タマ

トマツ

小車

キマ

艇 小舟

タマツの重
タマツの重
タマツの重

トマツ贈

印官判

トマツ

斧所

キマ

屬橋 年斧

トマツ

船橋

キマ

船橋 年斧

火人

大曾の艶 ヘイヌ
とまのわそ

とまの頂

とま

梢

またとみと まほ鳥る

まほまち

小野小町

まほ留まつれ山行恒

まほのつま鐵筋口

まほ

右今集
作者

まほとま 漢牛

からん

勝臣

右今集
作者

まほとまをに國

からん

尾張國

まほとま 恵澤

からん

尾張國

まほとま 混波

からん

尾張國

まほとま 安穩

からん

尾張國

まほとま 恵澤

からん

尾張國

とと 十拾回 てふとみと

とととろ

大井而

とととろ

とととろ

とと

とと

二

れ尾鳥

かねにき

あらく 空窟

まのみ

水深水底水水底
水深水底水水底

山乃木

山奥

山

山

山

竹やま

奥山

山

山

山

竹やま

大山

山

山

山

竹やま

山

山

山

山

竹やま

山

山

山

山

竹やま

山

山

山

山

ひの山

日麗山

大掌吉
他孫家

あらのぶ

毎尾

にのく 尾上

ひとふ

一卷方尾

かづきれ林

を若林

おもて見

洗瀬大浦

あわくま此松

色樂松

れふのくさ浦

まきうのく

無万葉息

納玉海賣瀬

大塙川

大井川

むくうのく 島川之多

むかとせう大淀波

むかはり勝瀬

むかみ川

洪秀

むのむかた 箕面鷺

むち鷺つ岩うと岩功也

あらゆる

さの内走夷車

花とくの内走

わ

かく風

胡麻

さのふくの麻

むくくす 晚田晚稻

むかひる

崩離

むら葉

落葉

むさのく

森繁演萩

むらくき

簾竹

むりひく

思草

むらむと

車前草

むねづ

薑根

根大根

むらむと

夢苦芸

むもたう

沫泡

むらむと

白波水衣

むやまら

茶

ササ花名

わらのりもと 路殺屋ま若

にしゆ

蕙芝小苑
英秀尾苑

河乃聲か 芦葦

ひしゆ

生玉手之

ひよし

生あ生也

ひりう

唐入鹿

ひゆみ

狼狽夷史紀序日年紀

ひいもと

芻神

なれきひきち力韁蘆

ひめくろ

鞞

ひめくろ

羈延年記

ひけくろ

桶

ひめくろ

威集鐵具足

ひめくろ

停多庭枝

ひめくろ

麾子

原基之

ひんもく

沸博士

漢書「天下繁亂之時不俗
外皆盡也」外皆盡也

ひらからす 桃板桃面桃

ひらからす 溫不

ひらと

碧鵝破石

ひらからす

巖巖立大方

ひらしの 大概茶字

ひらしの 大都凡

ひらしまれ 印度

ひらひる 魔

ひらひる 魔

天

ひきとき

程古今序

ほきわの時起列

ひとぞ

孫楊言情

きよしきもの

競

ひりら

祖父

行ひゆう 怪

かうか

名妙情假情

うりう 喻善 桃善

かうと

同事

行

下咲

かく

雄核

日文記原次也 行

程

かく

大

たかと

蹉跎蹉跎

うかうか 通達微

かく

大

かく

多負

おもひを負ふ事

かく

多負

おもひの多負の冒引れ目

かく

鳴峰

清出

るをもてて 摧抑抑撃

かく

程豫

おもひく 通以居

かく

度慮

おもひやる 想像

かく

穢異

おもひ思起

かく

思食

おもひ思食

かく

作裸役

思思思思
脇会推

アガル

阿寄鳥音

アシマツカ
の時ミ
タマツ

アラル

抱腹掩益

アラル
同ニ

アラル

祥

アラル

貞

アラル

懲懼悚惶

アラル

游泳游

アラル

怨懣恩懲

アラル

怨首

アラル

怨也空處

アラル

游首

アラル

表

アラル
税額

アラル

下端

アラル

革佩

アラル

治世沙字

アラル

枢

アラル

久遠之

アラル

年

アラル

一即日

アラル

年

アラル

肇源理收納

アラル

年

アラル

青蕨

アラル

年

アラル

脚取梳

アラル

鬼

アラル

變名

アラル

壯男又斧斧

むらさきの 惨長

まゆりから 実下

あらのると 賤男

むひて 夏

むりか

重

むくでまみ

むひひと相生

みのむ 水面

むくか 錦吹伏

むりとて 下堂

むけえ 破柄

むくさん 草

むく 已

むく 放放

むくの ま砂馬上

むく 治愈

むくねまく

むく

西羅

むく

憶

むく

密支

むく

老

むく

同

むく

毛

むく

毛

むく

雅人ナメ

幼チサナシル

むく

伯者タツヒト文集侍醫
著ムジヒト内紀局差遣

乱髮アリ零舍方ゼンカフ

むく

薦負山人

やうか

嫗也

頗

ひよこ

祖母

伯母

非ス

嫗婦

れされ

長女

又翁地

ハヤコ

魏文子

やまとひめ

是夷也

モトヤキ

公

わりさと

全王

天皇

御子也

也

也

也

也

こもね

小大君

はねき

御子也

也

也

也

也

也

やまと

太政

大臣

也

御子也

也

やまと

太政

大臣

也

御子也

也

よしゆく

義敷

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

也

よしゆく

義敷

也

竹子

擁護

若草子と

大和

ホニツ
内里之

名のあても 勝尾寺

足の弓も

箕面寺

むかわひの井 大雪は可
ホシタチ 集

足下うち

大和氏

アリ
姓伶人

竹子

興教紀作

足利

足利

足利

竹子

鷺

足利と

東下

三

江戸枝縁衣文也

鳥居山

大和山

ひの山

比叡山

美濃のり 竹野檜

えをき

接並

う乃え

浦崎川守一 一西

万葉

まくら

に

かふえ

那波江

ウリえ

姫江

アハ入え

長壁江

友うれゆえの井

交野あい井

つゆ井沼 藥局江

じめえ

柳枝復元系

たうちえ

立枝

志劍

沈枝

さくらの

やうす

本末 万葉

あくえ

古枝

モミえ

橘

やゑる

小枝

木まのえと枝原柯文朵

えりよ

桜

ひとえ

蘋 蘋子 美

じゆうれ

夢

ひとえ

柏木

じゆうれ

松

ひとえ

鶴

えをあくね

蝶

えをく

えをかまハ

絶

ひとえ

吹

えをくく

弱

えをくく

弱

えをくく

小江

えひえ

蝶

えんじむ

穿

かづえ

系

れのひづ

死の衣裳

きのえん

死

ああをも

死

えひづ

痛薑

えひづ

苦

えんじむ

穿

絆

えんじ

圓豆

豌豆

えんじ

圓豆

豌豆

えのあくす 在油一脂

のゑ

薦

ひき

薺

ひえう

鶲

えうき

蕉誠

え

曉

ぬえ

豚魚

え

鰐

えび

鴻毛

ひえ

京鷦子

えい

綱冠星

え

鷹帽子

あえ

角

あ

鷹嘴笛

あい

角

あ

鷹嘴笛

あい

角

あ

鷹嘴笛

けい

角

け

鷹嘴笛

あい

角

あ

鷹嘴笛

冬之日

作因 勿奴 蛮夷 南夷 小狄

夷秋

西戌 墓夷 東夷

冬之日不休修安塞

冬之日

瘧病

冬之日

胞胞衣

冬之日

既往既往

冬之日

肢人肢之

冬之日

既往既往

冬之日

賽

冬之日

既往既往

冬之日

肥滿

冬之日

既往既往

冬之日

其辛

冬之日

既往既往

冬之日

舊

冬之日

既往既往

冬之日

寒床

冬之日

既往既往

冬之日

以無

冬之日

既往既往

冬之日

以無

冬之日

既往既往

冬之日

上膚

冬之日

既往既往

冬之日

醉酒

冬之日

既往既往

冬之日

無益

冬之日

既往既往

冬之日

其苦

冬之日

既往既往

日知記
絕筆

冬之日

既往既往

冬之日

既往既往

冬之日

既往既往

冬之日

既往既往

冬之日

既往既往

源氏物語
万葉集

とのえん

ほせん

黄 辨

あそりの

さより

後 遠

えふき

雛

まことす 金葉集

ぬづけり 九曜星

まくさき 水絃

のえん

水絃

えのき

英 耀

えうぢ

窟 密

えんじ

纏 真

えん

夜 文

えん

演 演

ひのえ

迎 喬寺

えん

圓 浮 捷

ゆくゆくさく 早 行

わえむり

かえじうひつ
よけうけくほせん

ゆくよ

達文撰 勅 物

ゆくよ

役 才 儂

ゆくよ

金葉集

ゆづけり

七 曜 星

ゆゑの

易 徒

四

恩惠 恩情 恩情來今嘗聞け之

こじゑ

梢

すゑ

標本あ之未收
木李也

ゆすゑ

糸系向後

ゆゑ

同上

とじゑ

卒末季

ゆも

緋穀 粟人

ゆし

失岐

ゆふ

碑沈湖

よゑ

蟄居

ゆふ

膚

よゑ

肥

ゆふ

清府宿

鳥のたれ

清燒火

ゆふ

と鳴す

よゑのなひ

源氏物語

よゑ

附袋

よゑ

少枝

よゑ

贅

よゑせらゑ

白鳥郎と
青七日也

よゑ

物搗

よゑ

阿波守

よゑ

阿波守

よゑ

大草舍

よゑ

新草舍

よゑ

坂下宿

よゑ

佐野宿

よゑ

柏坂

よゑ

柏坂

よゑ

馬口至通也

よゑ

醜醜也

よゑ

半夏本草

恩奥万
女妻歌附一役

よゑ

多んと

根

は

枝

ひよこ

木穂子

あく

えくべ
歌麿

す

志

繪畫

な

だいせき
丹青

う

志

畫

さし

き
万葉

月

月

日

のと

忽

の

松

木松

おと

宿鷹

おと

鷹

松

ら

宿鷹

おと

鷹

松

おと

宿鷹

おと

鷹

松

おと

宿鷹

おと

鷹

松

おと

改愧

おと

衣絃

おと

智惠

おと

湯

穢

おと

鶴帽子

おと

鶴

おと

鞠捨

おと

捨

おと

金持

おと

會所

おと

眷属

おと

也而

おと

初雅

おと

榮耀

おと

詠一哥

おと

詠一哥

おと

詠一哥

おと

詠一哥

多ちこ

紳様

おらう

紳中

多らさん

紳あ

多々うるし 恵美津郎

多々うるし 後藤謙

五

一人

一ツナリ
ホツナリ

色逐遍絶部

多々うるし

は山

久

柄樂

多々うるし

八重移

やへじう

八重席

多々うるし

千石夢玉萬

千石夢玉萬

多々うるし

芊ヌイモモ
端致イノミ

内参人

早苗

多々うるし

裁植木葉ヲ

艶

奥ニ

多々うるし

蠅虫

貌

奥ニ

多々うるし

蠅虎

胆

奥ニ

多々うるし

守丸

貌

奥ニ

多々うるし

蠅蠅蠅蠅蠅

ヒキガヘ

貌

奥ニ

多々うるし

碎絆也

貌

奥ニ

多々うるし

序局

貌

奥ニ

多々うるし

鴿

家

衣石名乃及

なすふ

経

神と

比

勘

久

かへぐ
改易更換代

かへぐ

長久

いとく

梅

かへぐ

鶴冠木

かへぐ

物

かへぐ

行乞

のとく

延

のとく

古

ちとて 遠

調

かそらて 準據

押桺

りとて 徒

准據

よそて

押桺

とせりのとく 宿事所

愈茶

ひとく

草衣

うのとく 袍袂表衣

表衣

ひとく

毛絨

まことの枕邊ぬれ枕

枕邊

ひとく

鼎

釜 捕桌也

ウタ

喘息

タマシ

喘

喘

ウタ

靈

かうじあて 靈

ウタ

放

ウタ

返

ウタ

反帰

ウタ

返

ウタ

廢例

ウタ

廢

タモト

ウタ

賽

ウタ

佛

タモト

ウタ

九重

ウタ

佛

タモト

ウタ

無證方

ウタ

者

ウタ

溫露濡

タモト

ウタ

教訓

タモト

ウタ

愁慕患惱

タモト

ウタ

亂

タモト

ウタ

餓

タモト

ウタ

飢極

タモト

ウタ

不嗜

タモト

ウタ

博俗

タモト

ウタ

云言

タモト

ウタ

雖

タモト

ウタ

かく

タモト

ウタ

西緋

タモト

えりく

後

えりく

寛尾

わまく

剥臍

えりく

今田副

のりく

経副見

えりく

吉原齋机

えりく

餚

えりく

齋

わく

えりく

育後

おきく

想念恆惟以

えりく

支帰 日本記

えりく

白

れく

葉富

えりく

榮徳光見

えりく

辨

えりく

口向訊

えりく

言對應

えりく

九唯

えりく

うそつゑのうごく

万葉 修傳

たましる 菊負久

かくまほり

深氏助傳

袖うりて 打竹振

さうみて

振近處

日

ゆのひきつて お城布近隣

えつて 交仕官

はく

仕

あかだら酒給

うみて おふ

崖

とく

唱

あまで あまえ耳章

うみて

色文絵

うみて

集

かくみて まも准振

みて

甚也

だくみて

貯蜜蓄

このく

元部

かくのく 金針頭

ひくみて

馬姫

かくのく

鼎也

よひや

流星毒星

まよひく

天氣脅

緒もす毛約肩也

ひわい

曉達莫覺

六

やまひ

孫生 之前

よろひ

山波 重の弓

えあひ

猿院

わよひ

萎

もひう

葦
葦一草

もひう

忍冬草

まきま

やまひ

特牛

やまひ

鶯

まきま

くづらひ

蟹藻

やまひ

嘲

まきま

やまひ

貝錦

やまひ

貝

かひ

貝柄

かひ

貝度

かひ

靈龜

かひ

靈通碑

やまひ やまの猿胡簾

人たひ 人邊

やまひ やまの猿裝木

やまひ やまの蠟

人たひ 人邊

やまひ やまの猿裝木

やまひ 雛枕

やまひ

拂雲

やまひ 欲

やまひ

水

やまひ 欲

やまひ

水

年次借用

カツナリ

搔首

さとひて換

サムシ

兄弟

さひ

肺

モモヒのひの服

モモヒの食

モモヒヅ

雄饭

モモヒ強饭

モモヒ蒸饭

モモヒ饗饭

モモヒ縹饭

モモヒ

價直

モモヒ

高賣

モモヒ

齡

モモヒ

嫡嫡娶於這

タのまくわの合支支姫

タモヒ 魂魄作

タヒウヌ盲

タヒウ

聾

タヒウヌ額

タヒウ

財

山家ニキ

タヒウヌ年頃人

タヒウヌ年頃人

タヒウヌ人

タヒウ

怪

タヒウヌ氣

日加能

タヒウ

癡狂

タヒウ

侍候

典安建之

ひひひひ 當股

やあひひ 卷肩頭

ひひひひ 背致

ひひひひ 用膚

ひひひひ 敬
敬希樂裏

ひひひひ 漢杓

ひひひひ 禁吼

ひひひひ 拾

ひひひひ 悔

ひひひひ 幸

ひひひひ 極一經表

ひひひひ 遇合并

ひひひひ 付遭值相避

ひひひひ 附肩後頸

ひひひひ 解脫脫解

ひひひひ 大解

ひひひひ 向訊

ひひひひ 食食舗

ひひひひ 味

ひひひひ 遠違

ひひひひ 轉

ひひひひ 行織緒

やあひひ 卷子絆子

つうひひ 療治

かくらひひ 滅壞

ひひひひ 敬

ひひひひ 漢杓

ひひひひ 禁吼

ひひひひ 拾

ひひひひ 幸

ひひひひ 極一經表

ひひひひ 遇合并

ひひひひ 付遭值相避

ひひひひ 附肩後頸

ひひひひ 解脫脫解

ひひひひ 大解

ひひひひ 向訊

ひひひひ 食食舗

ひひひひ 味

ひひひひ 遠違

ひひひひ 轉

ひひひひ 行織緒

乃とて 戰國烽火かたき 震奮揮鉄

うみて 納姫うなひ うみて 失喪

にきみて 賦うなづけ わひ 淩瀧浣滌

からみて 環後環禪かんごかんぜん

はみて 勘撻かんぱく やみて 亂歛

すまひすまひ 相撲

やみて 痘あざ 痘あざ 痘あざ 痘あざ 痘あざ

まひまひ 行當ぎょうとう 異作いざく ほひ

まひまひ 競けい りひりひ 喧譽げんよ

まひまひ 偏令へんめい 偏令へんめい 偏令へんめい 勢威

にひにひ 向むかひ わひわひ 流

まひまひ 料理補りょうりほ

まひまひ 基き たひたひ 遠遠とおとお

わひわひ 炎禍殃えんかえい

まひまひ いきうち異熟いきうちいじゆく

まひまひ 中法長流ちゆうぽうちゆうりゅう

かひかひ 亂流らんりゅう

まひまひ 逆風歪曲ぎふうわんくつ

と見て

於

すらひ參

日麗交

とぞひ

益

のひを相生

たまひて

給

とぞひ行

かひ

叶

さうひ無事

今宵

もひ

慕

とぞひ狀

すまひ

わい

栖居

わちひは湯ま

びひ

向

あひく 生テ

え肉

つひ 味

えひて

致テ

まひて 繼紛

ゆひて

泣

まひは黎

ゆひ

一臂

ゆひ

恋

ゆひ

遠房

ゆひ

は黎

ゆひ

一臂

ゆひ

恋

ゆひ

遠房

ゆひ

思念懷想

ゆひ

禮

ゆひ

慕

慕

慕

慕

希

哀

ウタハ
歌

卷之三

明倫彙編

卷之二
辛亥道途

王

新約聖書

卷之三

小
少

汝其報。猶可謂壽矣。
楊花散遠天。古今集。

櫻花ちりどく
ひすゑひき

可以嘗矣。滿金盤也。源氏曰。

丁巳年
王德

劉公次後事

蒙古文書

七

意黑溪

二

卷之三

卷之三

火氣也

卷之二

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

ゆきり

細石礫

ゆにこ

油砂

ゆそ

砾

つい

泥泥古

ゆすも

紅梅

いちねの木

櫻木

ゆら舟

ゆれい

雲霧
霧剝
トアリ

ゆれい

平雲

ゆれい

纈粟ヒタイクリ

ゆれい

雅沙藻

ゆれい

蓼
柳葉

ゆれい

芋鷦鷯

ゆれい

円上

ゆれい

芹子

ゆれい

葛

ゆれい

円上

やまのゆす 薯蕷

いもじ 羊踯躅

簡泉

りもと

爰盆子

ゆるく

りもと

虎杖藤 武杖

ゆれい

けれい

荊芥

ゆれい

りもと

鱗

いふり

りもと

鰐鮒

いづりゆす 奥丁

いづりゆす 奥呪

ゆるく

りもと

筍

りと

奥浦扇

いじ

駒貝

ひやし

文蛤

ひそ

鶴鳴

いづり

鷦鷯

ひづる

鷺負鳥

せきま

鶴鈴

ひづる

蓑絨

ひづる

鶴

ひづる

氣根袖

こゑ

牡牛

ひ

摩

このほ乃

觜

いぬ

大在构成

ひん

光緋大師

乾

いも

埠

ひづる

頂

ひづる

鳴嘲

ひづる

人

ひづる

成方

ひづる

馬

ひづる

額

ひづる

山

ひづる

臂

ひづる

巔

ひづる

小子

ひづる

馬

ひづる

遙人

教文集

ひづる

皺衣

まよひたま 痞鬼

りりり

犧牲

ひきく 塵

饭炊

りりきの

喪物

とひり 僮楚割

うへい

索餅

まくら 醉酒

いへ

家宅全齋

めぐら 西附

だのや

對座

りくら 豪

さるりて

雄

りくら 桂磯

いりくら

瑞謹

こまい 报

いだま

不吉

こまい

瑞謹

不吉

つづき 築牆

つづき

築地

魚い

よい

逸也

ふくま

ふくま

逸也

ゆい

ゆい

逸也

ゆい

ゆい

逸也

屏

屛風

よひき

逸也

國寶直方見
祝其和原生也

いはく

逸也

絶

絶

逸也

纏

冠冕

逸也

天蓋

きそひ

逸也

纏約寄走

きそひ

逸也

り 里子

り

逸也

靠倚

ヨモアリル

ひゆて

因幡東

からう

燒焰

ゑど

吉野

よさよ

膳祿

ひ

掉

よさよ

膳祿

ひ

絃梓

いふ

簾拂

ひ

麁鷗

あふ

酒海

ひ

水干

すす

水精水晶

ひ

縹松

さう

水精水晶

ひ

つま

つま

水精水晶

ひ

水干

すす

水精水晶

家子家
経傳萬葉五

機板

机板

身ひきうき 身故懲警集

い

葉

酸蘿
生壁之

ま

簗

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

あらひめ

粉

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

さりうえ

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

のほん

齋罰

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ま

縛

絆一也
三口ノニ

いろ

織津

イヌイヒ
久新綵

機

ひらき 搞雪

いも ウラ 膜り

かまくら かま 熟

つゆ つゆ 終畢竟

あさと 曙夜

か 朝

りそん 鮑糲

し 仁

けいゆう 離聚

かくそ 俗

けいゆく 你僕

ひひき 俗

ち おとこ 楚辭在山塞

いじい 自我其子也

くしきとわざりよねよどくわらう

か 事

なうきとわざりよねよどくわらう

と 事

おほまうらみ 大臣 おや 乃至

か 事

おんじ 負介 おのそ 渡

か 事

まもと 互杵

か 事

やくすす苟

か 事

いとよおや和 望よしん鴻引高

か 事

ひとよおや和 望よしん鴻引高

か 事

あすう 蔓也 いとう

か 事

ひとよおや和 望よしん鴻引高

か 事

ひとよおや和 望よしん鴻引高

か 事

むせと 互杵 いせん 何為

か 事

求食火 万葉
文集未審

洛ちと鷹火點記

絆

早晚

口宣門

氣洞

いはきやろ 章心

口宣

いはき 可畏懼

口宣

あいか 章毛はまわ
むすめ

むすめ 無事矣

口宣

むすめ おみ縫く

口宣

致

口宣

難寢

口宣

只當

口宣

口宣の身の内口宣の内

口宣

口宣

口宣

行

口宣

口宣

口宣

口宣

耽付

口宣

口宣

口宣

口宣

遠慮

口宣

口宣

口宣

口宣

邊音

口宣

終人

樂之

口宣

アキモト 鶴所

アミ

鞆員

アシナガ 中山の後然 やくものとを揚名す
カムラニヤ 踏下した あけくまう内麦坊
クニ

カ清

きものとや后宮

アシモのえん 農高二月廿日
妻 稲崎室 つるあらわし 近似深自
賤石是

アヘンの事すがりは猿行幸での事

帝王

アセイ 一 阿敷

アゲ

津邊

アシナ

アシナ

アシナ

魚鰐

アシノン

アシノン

對牌

アシナカ 真駒藏

アシナカ

探題

アシナカ 女郎

アシナカ

火災

アシナカ 異称

アシナカ

端相

アシナカ 弟孫

アシナカ

急急

アシナカ 朝延

アシナカ

景耀

花雲
立

文量

アシナカ 性

アシナカ

映微

アシナカ 墓界

アシナカ

之子

よ

神體

忍

派

りかく

侵

いりうち

岩瀬

いきり

病

いりのう

乃祖計

りのく

脳寄界

いりふ

蒙作草毛

りまく

狂

いりせのすり岩瀬森

りたの浦

いきねり生ね原

いづのぬま保育保活

いすみ 宇都川

壬午川

よし前 潟川

いきまく墳水

よきや廢立原山

いこ處やま生狗山

おやまうちまき大

眉山也也まくらも大

おじゆの お島敷

おのしま島敷待

なうめおじて令はば

うみ

豪后准川飯

后准之瀬乃
本希の内

いまと 妹

ゆ

妹

さうり

父母

のう

母

さやと

柔道文先生

父兄

わいあ

妯娌

のいと

姪

あくねぬ

景范

さう

妻子

さいさん

帝範

じいさん

門

こちうきどひ守

水つかひり電

ハ

ぬあ井遠安

角

雲長

さうる

里鳥

わく

菌

わく

澈

わ井

蓝

わのさうり

牛膝

われかる

紅

わゆゑ

椎實

さるくつまみ草

五葉

わらわの木

櫟

わる

蟹飯

わるまつる蟹松

松

わ井

鱠

わあか

水鶴

龟

わうり

守宣

法苑

さう

豚

さわうりひと本書き わのこ

豚豚

わ

諸核玉糸のわのとすら 実見候十月を

くよれわ 無胃

わきわの 鈎飼（原教）テ

もしわ

強

やかわ 翁嚴（縁嚴）

あるにとち衣（藍拂衣）二あるのうちに二藍小拂衣

つるふ

並後毫（ひごう）ついたるまく新松

きあそり 強わ

りしわ 周膚

かまくわ小然（まくわ）おとけとおとての強劫經

あきらわ弱盲

りり 盲

うわく 敗初後 わいひはきわうり 犬

ねどもく 虚無

わ家

居

あまくわい生虚無草（くわく）井

家居

あまくわい
虚居（くわく）居とあまくわい
虚長取居（くわく）

膝行居（くわく）たてまく（まく）奉ぬ（まく）はく

わく
續（くわく）身のわく（まく）もわく

歛（くわく）空（くわく）の室

ちあく
確（くわく）身のわく（まく）のわく（まく）

胃腑

あまくわい
育膳（くわく）もわく（まく）う雍瘻（くわく）の

わし

桂耳うめのき よゐのそく 袷振作

ゆうりん女院

くじる

佐

くじら山

くじく

院引執持勅別

あ上小面下小面武志面義 典代走

うかむと

童子万葉又童女

一わうりん小字一 一位至祐

年

わ

韓

くじた

井柳

くじる

唐井袖中板

くじら井

山井

くじる

毛盤井もはれい

もはれい

縣井戸えい

たまなる玉井

すそむの圓の鏡陽昇

つけのつる池穂

ゆくらる

鶴鳴井名

信 緑

ゑをぬわと畠井戸

ねをと

埴堰

井井河

つとの圓の鏡波昇

かけぬわと吹波河

ゆそのたまう井出井水

わふろ

松名野

ゆかみの

宇多野万葉

信 緑

さうのくまのゆ井木立

ゆそゆそ

井水

やうわん

は乍

せうようわのあ

信 緑

わんぐる 貞介

やまきに 桃鶴峰

せきのと 紹岳里

あらのむ 四穀待

わさり

圓遠

庵うわん 苗胤

わても

秀穂宗綱

わき

秀細

わうわ

鶴桜摺居

ある

幸名

わくわ

乾

どうむをし

軍威森々うの七五
中ちう澤さのをそむ居
はざまへぢく

わすれのゆ、無陽

かわのわ 香椎宮

九

ほ係か帆植有

わらそ

寫意

よし

叢

わきく

模

ゆふく

夕歌

わくづ

織袋着糸

ゆくづ

直系

わくづ

白鳥白鳥のもの

えふ

棹櫓架

わくづ

白鷺

ゆくづ

のきのきよひ帆植舟主也

わくづ

直帆直帆のもの

えふ

帆帆のキトヨム

の月

炎焰蠍

肩上袖下腹袖

薄

多

かさか

行辈領

とこり

洋

つけ色

毒氣

肩ふ

通徹艶

とのりう調整

みちよ

匂荀

かりゑ

喬匂葉

まきひ

勢威

こうせい

匂匂

うきひ

潤澤露

うきひ

粧

くまく

探えく見

ゆきひふら更綱

ちり袖 調袖

そりぢり溢 りき

かね

放

かきく

墮生

望

かのじね怒

かのじ

血窓

ゆきひ

相

せき

な

死人

こりひの 佑保娘

こりひ

娘

とくひの娘

娘

かわらは表 懸月夜

かわらは

表

懸月夜

幕

の夜

宣旨

むぎよと 公

むぎよと

公

むぎよと

公

むぎよと

公

むぎよと 祖父

むぎよと

祖父

むぎよと

祖父

むぎよと

祖父

かわまつと正觀司

かわまつ

大慈首

かわやすかわ大原少海

かわとのお大窓

かわかりか窓の櫻花

正觀門

一弓不丁か一入二入

かわ

色樂衆

かわげらてれかわ無事

かわ稻川入

かわくわ六邊漫東

かわ

浦邊窓

かわかみ 保岐

かわ

蘿堰

かわ湖興海

かわ

湖

かわのま 伊勢保清

かわ

滄溟

かわとくわと鹿浦

かわ

阿彌

かわ川 大鹽川

かわ

奈良川

かわとくわと保岐

かわ

保岐

かわとくわと保岐

かわ

保岐

かわとくわと保岐

かわ

保岐

かわとくわと保岐

かわ

保岐

古今傳
古今傳

若よりひむか木事所

つり

高盧

草木へり

草店

くそり

國郊

あり

水深

みや

瀟洒

禁中才
乃後

やまねひきと 椰子林

十

わ梅悔わ豆

のまた

野が山暮らのまろを 墓風

うひ

早巖

すゆのくも源浦海

寺はまき海隈

すもわのたる 緑輪界

白河のやまと三痴巡

うわく

妙義

伊勢守
多

尺わさきと難足分

あらうせと發

かきの行脚者頑

車ひき

車行脚

うひ

藏脚

ひきと

枯破子

あひき

名

とひき

法津

ちよひぬ仕事半

えひまかづ雅

日本記
傳

ひひるひく弱

見ひと

我人

袖中抄

ちんじう 親王

みまき

三痴計

わふ

直後

見だ

波

とまくすを 直置 わきよ

瓣毎

わづ

童部

わづのれ

私

われはる 鷺の巣

月日

長枝園

わけとくを首

わづ

輪遠

十一

ト

は波

と木本縄繋

秋末

磐岩

いふ

巖

山や

嵐霧

のうも

迷宮

五景

ゆゑ

迷池通

みづみ

涼

燎廢

みた

度端峰

天

漫臥深

みちのく、富士山

山行

度波止

みた

汀

多

照阡陌

もとゆ

破葉國源

弓之

柏樹

みた

岩戶柏

万葉

わづか

朴柏

かふさくら樟櫟

よみのすま樟竹

きりく 蕁

すくう 薦枋

枝それづ小枝橈えさこの

たすき 玉幕えま

ゆく

票

わづき

木木の文

ゆゑ

尊

うそま

かくま

接繩

たづる

縄索

つづふ

綆

け

儀

え

紳

け

波草糸

ひ

院鷗

ひまうと 壬醜

かくけ ちゑ

うとうの矣

うつま

勅祇てき

あづまき 納歌

ほなま

嵯峨

じつう 隠界磯

じ

母嫁

わくえ 童

わくえ

婆妻翁

わくゑ瘧病 たゆま

うふひ

乞

厭

のわくひ蟹井砲

わくひ

炮震石丈せきじやう

ひいと

韋縞

まつり

冥徳殃

わつまじ 憶懲咎

たうじ

橿嫗娜

あえび

阻

日午地
をも

たけかへる 酔

けふ

達界礙

まつりふ

交難

まつまう

櫻窮敵

寒、
まつむき

雅

のとく

法今後

わづく

周系

ひき

饑饉

けふ

接

うとう

躰泰舞

けふ

安、
まつむき

こく

強劉健

けふ

薦童崇

やうえ

柔和軟柔

まつぐく

委

なすきつ

慰玉

まつやう

柔正 経

かくふ

代始

けふ

弊

めつあり

穆外嚴肅

まつうり

卒命嚴威

ゆくと

絶

まつま

通

まつまく

主

まつまく

通

わづまく

金算渾劫

まつまく

言釋詞譯

モウリ

理窟跡

タツラフ 全段

タツラフ 窓

タツラフ 次正祥

日記
ちかく

ひりひきぬわまきを先流者身

万葉
まき

カツラフ本派

カツラフ 表書

文籍
まき

絶のあまけは霜の下る瘦鶯食鳥薄端

ツラフ

絶宗

ちやく井井井井破作

トス

横川

カサヤ

廁園

ひりひき枝枝尊

あつらふら栗園

カツラフ栗澤野

カツラフ栗澤森

カツラフ木櫻山

カツラフ木櫻井

カツラフ高難可

カツラフ

十二月始至

ひりひき桔梗木

カツラフ河邊遠

十二

じ武安先人ん舞年

ヒヤ風

ヒヤ風

ヒヤ風

ヒヤ風

ヒヤ風

ヒヤ風

五音圖
ひりひき

ひまむのとる馬脚毛取 馬脚毛取 馬脚毛取

まとうじ 整宿

ひづふ

糞

ひづふ 產深

ひづか

生夷うな

ひづう 叮人ゆき

ひづく

むそ

ひづうりつき生肉

ひづく

羣育其樂

ひづこ 諸

ひづく

鷺梅梅于

ひづくの義物

ひづく

荊棘

ひづく 邪子

ひづく

鳶縣

ひづく 魚鱗捕

ひづく

毛衣毛被

ひづく 馬約

ひづく

圓人

ひづく る挽

ひづく

羣馬の草

ひづく 馬槽

ひづく

群長

ひづく るやち

ひづく

群猶

ひづく 牧

ひづく

羣馬破

ひづく 馬蛭

ひづく

羣馬瘧

一

あまうかつて 滋潤

あまう

深海

あまう見 湖

湖のまち 游河内

あまうと 紅葉

紅葉のまつげ

あまう 薩草

薩草のまつげ

あまう 莢

菖蒲

菖蒲のまつげ

あまう 鞍甲

鞍馬のまつげ

あまう 牡

牡のまつげ

あまう 黄牛

黄牛のまつげ

あまう

鷺

あまう 帐置

帳置のまつげ

あまう 天井

天井のまつげ

あまう

屏風

あまう

屏風のまつげ

あまう

帷幕

あまう

帷幕のまつげ

あまう

帷幕

あまう 雌黃

雌黃のまつげ

あまう

剥刀

剥刀のまつげ

毛髪

一

まうちうれ 薦おもて身み房ぼうのの経きりととら 院いん服ふく
まうと 細ほ被は ひうと 亨お繫い方ほう繫い
ひうと 院いん服ふく 普ふ通つう被は きうわう 陵玉りゆうぎ
かうまうと 院いん服ふく 教きょう業ぎょうあふたうと 宝貴ほうき のうき
まうと 冠くわ被は まうと なはすと 玉冕ぎょくめん
まうと 紫し紙し まうと はなす 便びん粧きよ 化粧けいざう
まうと 緋ひ縗ぬき緋ひ縗ぬき まうと 緋ひ縗ぬき 緋ひ縗ぬき迎むか迎むか
まうと 护まつ衣き まうと まつめのまつめの身み 院いん服ふく 院いん服ふく

一

舞まい 信しん後ご すまうせらま 相あい撲ぱく前まへ舍やど
まうと 獄くわ作さく まうと 獄くわ作さく まうと 獄くわ作さく
まうと 鬼き阿あ鬼き まうと まうと まうと まうと
まうと 妹めい婦ふ まうと まうと まうと まうと まうと まうと
まうと 采う履き まうと 采う履き まうと 采う履き まうと 采う履き まうと 采う履き
まうと 橋は鼻はな禪ぢ まうと 橋は鼻はな禪ぢ まうと 橋は鼻はな禪ぢ まうと 橋は鼻はな禪ぢ
まうと 舟ふね一いつ般はん まうと 舟ふね一いつ般はん まうと 舟ふね一いつ般はん
まうと 義ぎ榜ぼう まうと 義ぎ榜ぼう まうと 義ぎ榜ぼう まうと 義ぎ榜ぼう

一

一

空氣

御曹司

大學生

新之助也子の元宿禰山人相人
と金子山人擬生^{源氏}あさく
附跋

こ風と ち義人

やいと 金

うとう

圓室

翠苑

うかく 繼頸頸頸

のあくら 完備

身^身身^身身^身

うゆ 莘

のちきあく 紫霞^{紫霞}筆^筆

ひつま 麟

印^印印^印印^印

けすく質

ひすく事経

とけすく無人室

ひすく心寂

てすく川

手水

まくく後緒

めすくゆく家狀

うきく方懲

うきく壁帳教誨

このすく好

うきく序解政要

取扱^{取扱}あたま

鶴齋

桂仙窓^{桂仙窓}源氏^{源氏}

志^志

強

御食事 飢渴

わやう 危

ひき 猶豫
からりて 幸若

まうけ 懐傭

まうとて 而故

まうして 憲核

わくして 雅契表稿

まうして 細織

やうじ 淫

罪至

まうく 終く

けうらうり 氣乱

まうく 潟

けうかく 希互

まうく 滅没

けうく 滅没

まうく 消息

まうく 物

まうく 包丁

まうく 今往

まうく 駆劫

まうく 宰葬

まうく 乞揃

まうく 登廟

まうく 莖莧

まうく 茄泥

まうく 乃湯

まうく 摠緩

まうく は支

まうく 仰八旗

五をやう 四脚はくだけうやう な眷
らうもう 玄巻 とうと 奏
ぬうと 言申承 ねうと 思
とう 懸け牒 きう 審
きううてん乞巧費 てうし 明子
えううわくの玄友齊うやらう 追跡
こううじうてんは淫歌もまかたれす 多武家

十四

五不布岐齋善周枝

りうよ角巣の附枝タうり タ云
せよへ 夕吹 いとう 月夜の白星
ううく 梅月夜のうす宵 回目
ぬよ 修辭 いきよす 鮑酒浪
うよまき 茅舎主 わゆひ 蓼葦
かすけ浦乃てゆふ三庭野浦後本席 件の多
あひきふ芦桔主 あうひすふ鳥葦床 伊勢屋主
りうひうら ひうひうわうり 檜

本傳多の事

株

和希差取

園生

苑生

戴彌種

園生

圓生

生

在内之字及

戴彌種云

維

美也

猶

寔もと見

相

鈴鈴虫の事

相もと見

數

鈴鈴虫の事

扇幕邊幕の事

汝

汝汝

カニ

汝

汝汝

明蝶

蝶

比翼

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

明蝶

蝶

蝶

比翼

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

蝶

かふふ

更

寶

きとふ

翁鑒

たくふ

顙屬

てのふ

鹽漂

わらふ

洗懶流條

かよふ

金奥

かくふ

櫟嶺園

かきふ

驥

ひくふ

捨捨

どうふ

捕

ひくふ

賄蓄

とうふ

深副情

れりくふ

詔勅如約

とうふ

婢

ちくふ

聖盟

つうふ

療

けのふ

僕

わきふ

辭

ののふ

拭揮

わきふ

啟恭

ののふ

殘宿換

わきふ

給賜錫

ののふ

興

ののふ

命宣回

ののふ

叶緋合

ほくふ

筆使

ほくふ

緋

ほくふ

緋襪

ほくふ

緋襪

ほくふ

緋幕

ほくふ

緋幕

火

ひきり

かきぬ 煙熱

のまく 年序

いのぬ

煙絲苦

えすらよ

吟傳

のうす

曉人之多

えすらよ

接追

やまく

猶猶

えすらよ

奮

やまく

猶猶

えすらよ

嘆

わふ 雜 萬殊 ふれや 番
よきのからひち 純遠を通ひ
ゆく風、阿武澤、ゆきや波を波山
ゆきのれを國 ふかのあく、源頼朝
もも 稲泊 まよ 忠
さきらむ子 元河内行植

三原西扇 高麗太白公像 御書

写

一冊小僧絶以教多々本考勵、而研繹
程も先哲言授事、廣換圖彙隨掃蕪有
云可候後易する事

写

寛政二年歲九月吉日

形工 畠田金六

池主鶴仲丁

東都書肆 三鶴堂

